

内視鏡治療後の癒痕上又は近傍に生じた表在性食道扁平上皮癌に対する CryoBalloon Ablation System (GBAS) を使用した冷凍アブレーション治療後の長期予後に関する観察研究

1. 研究の対象

2020年10月から2021年10月までに国立がん研究センター東病院および国立がん研究センター中央病院で、「内視鏡治療後の癒痕上又は近傍に生じた表在性食道扁平上皮癌に対する CryoBalloon Ablation System (GBAS) を使用した冷凍アブレーション治療の有効性・安全性評価試験」に参加し、冷凍アブレーション治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的：内視鏡治療後の癒痕上又は近傍に生じた表在性食道扁平上皮癌に対する、GBAS を使用した冷凍アブレーション治療後の長期予後を明らかにすることです。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析をおこないます。

研究実施期間：研究許可日～2028年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、疾患情報、血液検査結果、内視鏡所見、生検組織の病理組織診断 等

4. 外部への試料・情報の提供

他の機関への資料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織・研究責任者

研究機関

研究機関名	所属	研究者氏名
国立がん研究センター	東病院 消化管内視鏡科	矢野 友規（研究責任者）
	東病院 消化管内視鏡科	大脇 悠司（研究事務局）
	東病院 消化管内視鏡科	砂川 弘憲（研究事務局）
	研究支援センター 生物統計部	若林 将史（解析担当者）
	東病院 臨床研究支援部門	池野 敬（解析担当者）
	東病院 消化管内視鏡科	新村 健介
	東病院 消化管内視鏡科	門田 智裕
	東病院 消化管内視鏡科	中條 恵一郎
	東病院 消化管内視鏡科	稲場 淳
	東病院 消化管内視鏡科	山下 大生
	中央病院 内視鏡科	阿部 清一郎
	中央病院 内視鏡科	野中 哲

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 大脇 悠司
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 砂川 弘憲
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
TEL:04-7133-1111（内線 大脇：91365、砂川：91052）

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 阿部 清一郎
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL:03-3542-2511（内線 7383）